



I 第24週の発生動向 (2019/6/10~6/16)

1. 手足口病については、三戸地方+八戸市保健所管内、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
2. 伝染性紅斑については、弘前保健所管内、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。また、東地方+青森市保健所管内では定点当たり報告数が1.50となり、警報開始基準値(2)に近づいています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
3. ヘルパンギーナについては、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
4. マイコプラズマ肺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多い状態です。
5. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型1人、B型8人でした。

II 第24週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	6	0.46	1	0.07	1	0.07	1	0.14					9	0.14	-21
	RSウイルス感染症			1	0.11					1	0.17	1	0.25	3	0.07	0
小児科	咽頭結膜熱	3	0.38	1	0.11	2	0.20	5	1.00			1	0.25	12	0.29	3
	A群溶血性レンカ球菌咽頭炎	3	0.38	14	1.56	24	2.40			11	1.83	3	0.75	55	1.31	-3
	感染性胃腸炎	26	3.25	17	1.89	42	4.20	43	8.60	14	2.33	11	2.75	153	3.64	-31
	水痘			5	0.56	5	0.50			1	0.17	1	0.25	12	0.29	0
	手足口病	3	0.38	5	0.56	44	4.40			29	4.83			81	1.93	-40
	伝染性紅斑	12	1.50	12	1.33	8	0.80	3	0.60	11	1.83			46	1.10	4
	突発性発しん	2	0.25	3	0.33	8	0.80			1	0.17	1	0.25	15	0.36	-7
	ヘルパンギーナ			1	0.11	2	0.20	1	0.20	5	0.83			9	0.21	-12
	流行性耳下腺炎	1	0.13	1	0.11	7	0.70	1	0.20	3	0.50			13	0.31	10
	眼科	急性出血性結膜炎														
流行性角結膜炎						3	1.50							3	0.27	3
基幹	感染性胃腸炎(ロウウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎			1	1.00	1	1.00					9	9.00	11	1.83	8
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

ヘルパンギーナ (五類定点把握対象疾患)

ヘルパンギーナは、乳幼児を中心に夏季に流行するウイルス性の感染症で、いわゆる「夏かぜ」の代表的な疾患です。病原体は、コクサッキーウイルス A 群である場合が多く、38~40℃の急激な発熱と咽頭や軟口蓋の炎症、水疱を特徴とします。一般的に2~4日で解熱し、予後は良好ですが、まれに髄膜炎や心筋炎、熱性けいれんを引き起こすことがあります。

第24週現在、西日本を中心に患者が増加しており、また、青森県では過去5年間と比較してかなり多い状態となっています。例年、国内での流行は西から東へと推移するため、今後の発生動向に注意が必要です(図)。

ヘルパンギーナには特異的な治療法はなく、対症療法のみとなります。咳をしたときのしぶきにより感染したり(飛沫感染)、便からウイルスが排泄されるので、汚染された手や飲食物を介して感染する場合があります(接触感染)。そのため、予防にはマスクの着用・手洗い・うがいなどが重要です。

◎詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞ [ヘルパンギーナとは \(国立感染症研究所 HP\)](#)

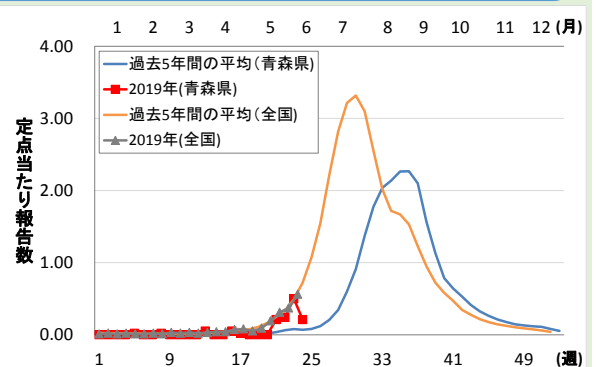


図: 青森県及び全国におけるヘルパンギーナ定点当たり報告数推移 (2019年第1週~第24週)

ヘルパンギーナとは [国立感染症研究所](#)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、上十三2人（2019年計：113人）
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2019年計：17人）
- ・急性脳炎（五類全数把握対象疾患）：弘前1人（2019年計：2人）
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：青森市1人（2019年計：15人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：青森市1人（2019年計：13人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019年第21週～第24週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
21	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 百日咳1人	つつが虫病1人				
22	つつが虫病1人		梅毒1人		劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	
23	ウイルス性肝炎1人 梅毒1人	水痘(入院例)1人 破傷風1人	つつが虫病1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人			
24	梅毒1人 百日咳1人	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 急性脳炎1人				

第23週に青森市保健所管内でウイルス性肝炎1人、梅毒1人の届出がありましたので追加しました。

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患)（2019年第21週～第24週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
21	3	1	1		1	
22	1					
23		1	1	1	1	
24	1				2	

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週～第23週までの累計）

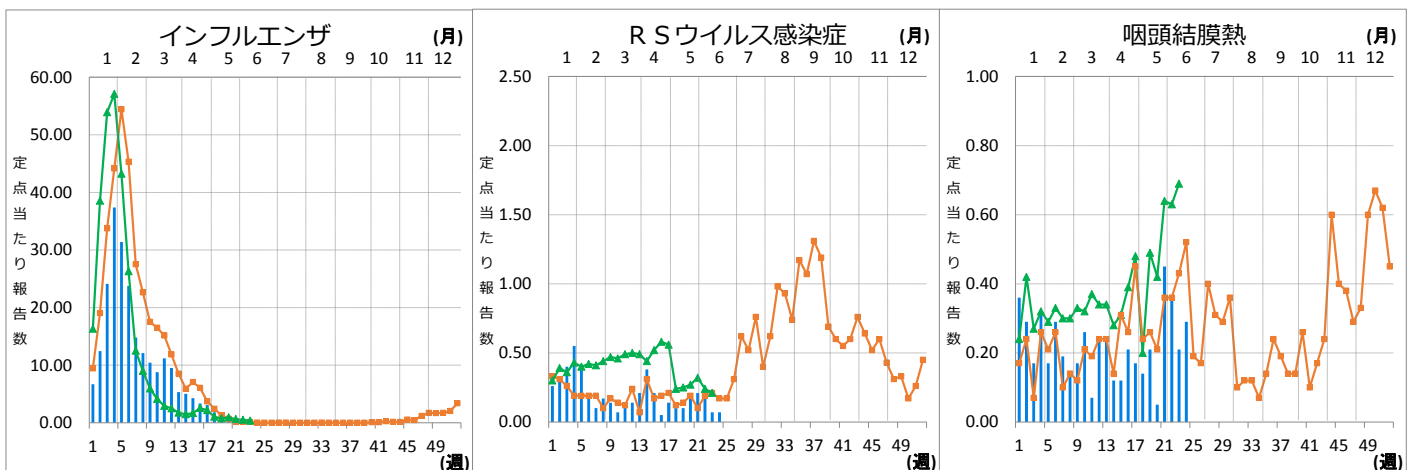
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	8966	3	41	639	16	10	222	210	5	11
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	コクシジオデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病
累積報告数	1	31	3	67	133	47	1	1	19	2
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	643	4	383	139	829	31	446	7	75	408
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	490	18	279	22	1830	199	2	2803	64	40
分類	五類	五類	五類	五類	五類					
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症					
累積報告数	32	6895	1718	617	16					

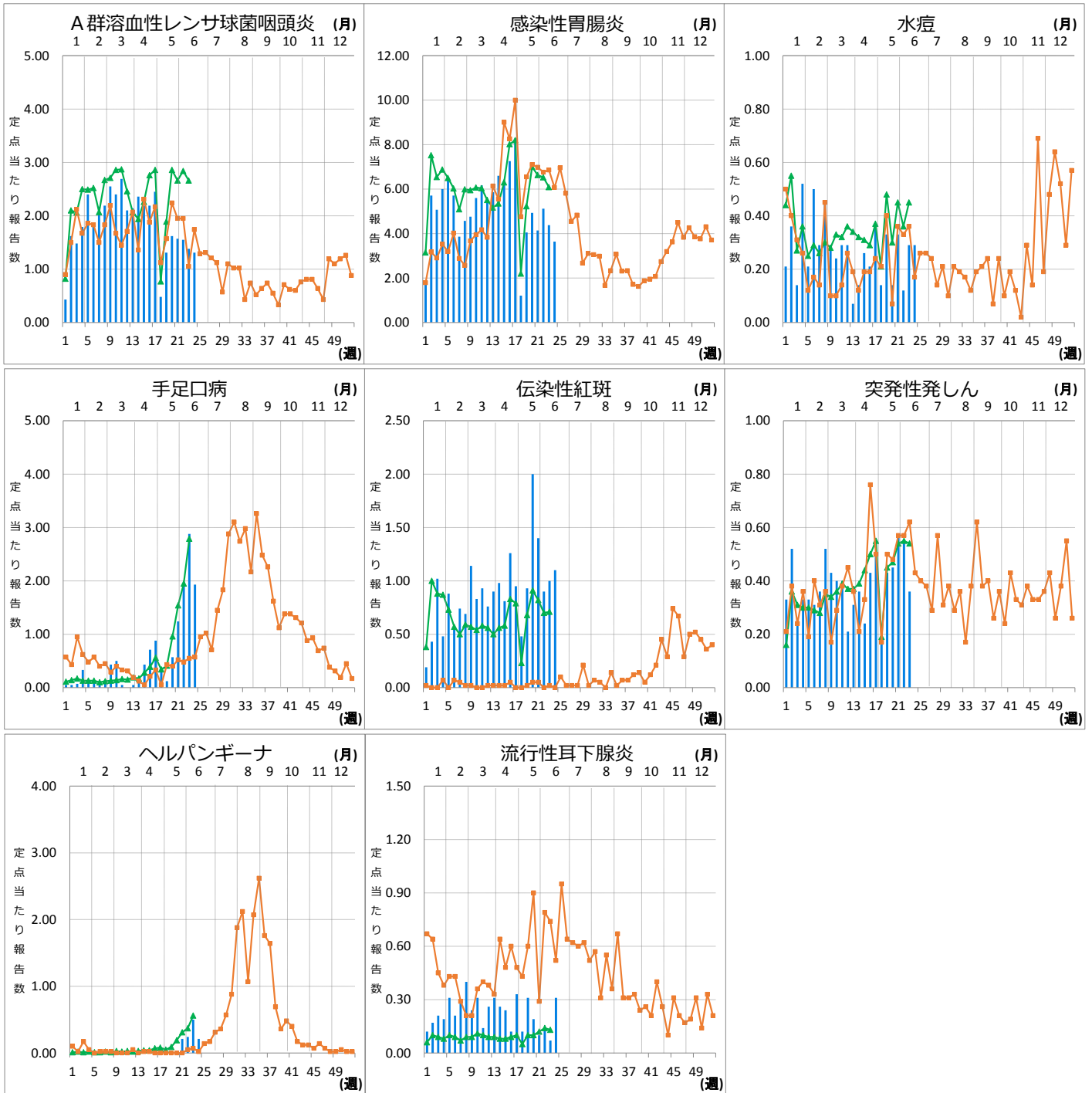
青森県（2019年第1週～第24週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	113	1	1	3	6	2	1	17	2	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	1	3	1	1	9	1	15	1	3	13

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第24週、ただし全国は前週）

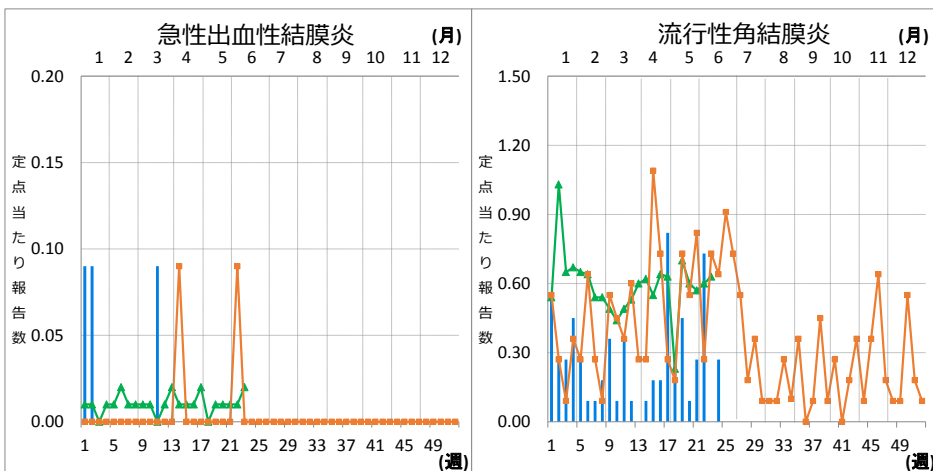
グラフの説明 ← は2019年青森県、■は2018年青森県、▲は2019年全国





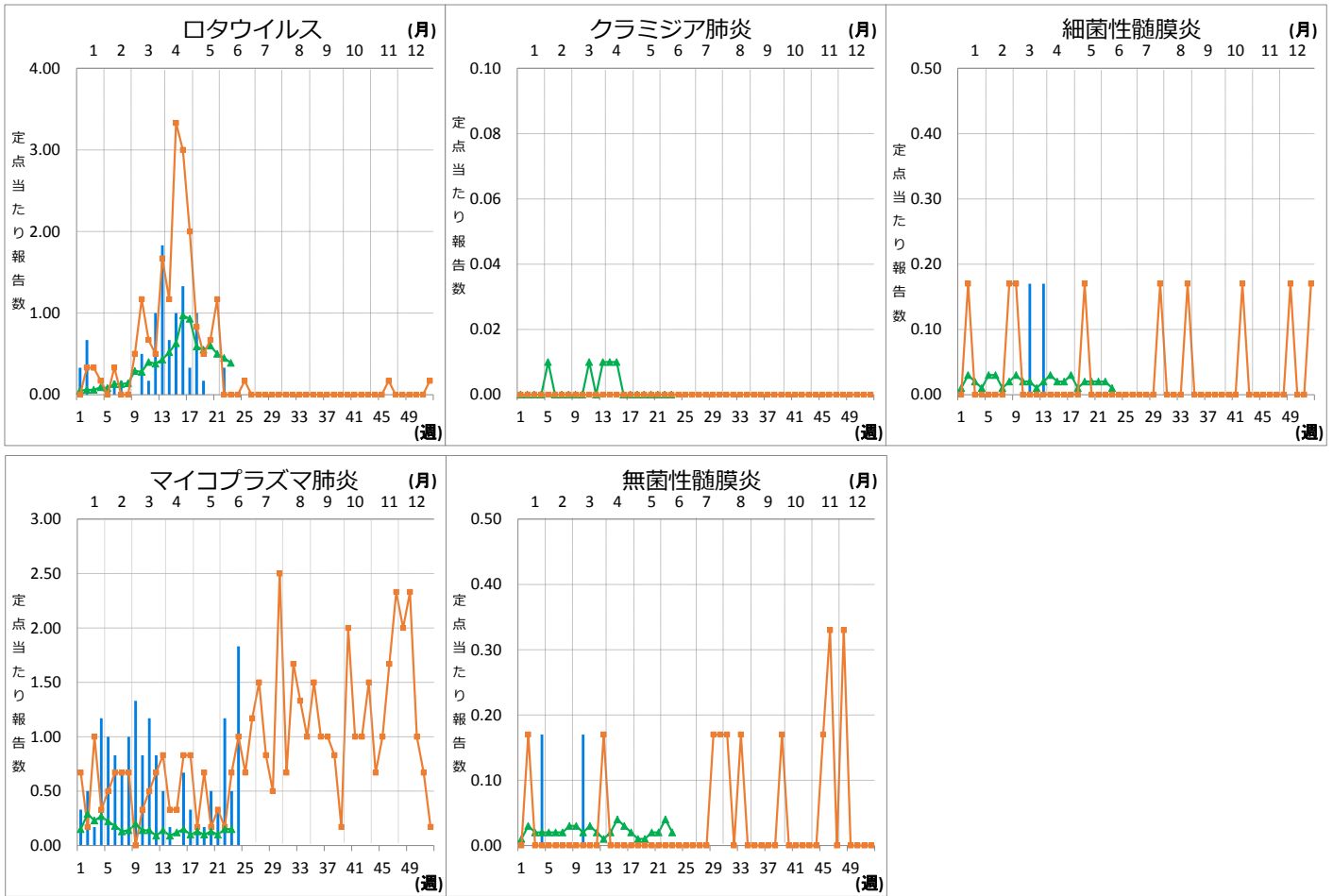
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第24週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第24週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第24週

報告はありませんでした。

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-21週	22週	23週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	1	0	0	0	3
	発症者数	29	0	24	89	0	0	0	142
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	1	3	2	0	0	12
	発症者数	69	47	17	53	14	0	0	200
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	2
	発症者数	0	48	0	18	0	0	0	66
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	5	3	2	5	2	0	0	17
	発症者数	98	95	41	160	14	0	0	408